



「湖南省」女子チーム ゲートボールで全国大会に出場！

「湖南省」女子チームは、滋賀県予選大会で62チームの頂点に立ち、2年連続で全国大会に出場されました。惜しくもリーグ戦敗退となりましたが、その後の近畿女子ゲートボール選手権大会では4位と健闘されました。現在は、9月に長浜で行われる全日本ゲートボール選手権大会の出場権獲得のため、練習に励んでおられます。チームプレーで助け合いながら、戦略を練って戦うことがとても楽しいという皆さん。これからもがんばってください。



..

..



友好交流都市鳥取県 北栄町大栄すいかフェアが 開催されました。

7月6日・7日に、市民産業交流促進施設「ここぴあ」で鳥取県北栄町の特産品「大栄すいか」の販売が行われました。大盛況のうちに100玉が完売し、北栄町から販売にこられたスタッフも「こんなにたくさんの人に購入してもらえて嬉しいです。」と一言。たくさんの人が美味しいすいかに舌鼓を打ちました。

8月3日の夏まつりでも、北栄町の特産品を販売される予定です。

先月の「広報こなん」でも特集しましたが、市が避難勧告や避難指示を出す前であっても、警戒レベル3で高齢者などは避難を開始し、警戒レベル4では全員避難をするものとされたものです。出水期を前にした5月30日には災害警戒本部の初動対応訓練も行いましたし、万一の際には関係機関が連携して対応することとなります。

もちろん、市は状況を見ながら避難勧告や指示をしっかりと出しますが、それ以前にも自らの身は自ら守ってほしいと国の方針が変わったことに気づけてください。

昨年7月の西日本豪雨の教訓から、国の防災基本計画が改正され、防災情報を5段階で示すこととされました。

湖南市消防団は、287人の団員と9台のポンプ自動車、17台の小型動力ポンプ積載車で構成されています。今年前半の市内の火災発生件数は14件で、うち消防団が出動したのは6件でした。



現場では、消防団員のみならず、水防団員として、パトロールや土の積みなどの水防活動に従事いただきます。そうした水防・防災活動だけでなく、普段からの火災防衛も消防団の役割です。

先月18日には、京都アニメーションで許されない放火事件が起こりました。34人もの尊い命が失われ、34人がけがを負いました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、けがをされた方の一日も早い回復をお祈りします。

ガソリンを撒くという卑劣な犯行もさることながら、火災の怖さ、悲惨さ、凄惨さを改めて認識させられました。

消防活動の主力は常備消防である湖南中央消防署と石部分署となりますが、その活動を支えるには第一線に立つのが消防団です。